

本科 10月16日(木)

### 第36・37回講座 「観察スケッチ入門」

講師 浅井 糸男氏 (日本理科美術協会会員 ボタニカルアート教室講師)

日時 10月16日(木) 10:00~15:00

場所 塚本ビル 会議室

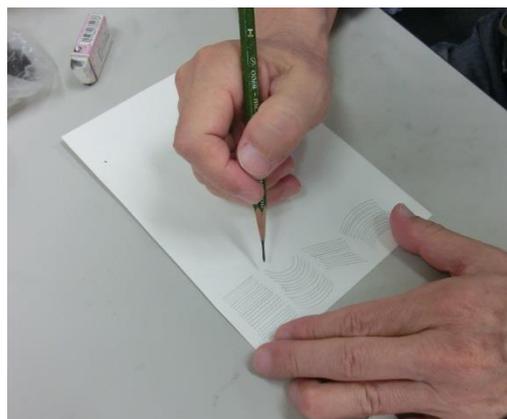
#### テーマは、自然観察とスケッチ

今年度から始まった浅井糸男講師による「観察スケッチ入門」の講座が1日コースで行われた。まずは講師自作のDVDを見ながら、ボタニカルアートについて紹介された。自然の生き物を描くということは、ただ“見る”ということではなく“観る”ことで、内に潜む特性を徹底的に観察して、特徴、原理、秩序を理解したうえで描くことであることが説明された。そして鉛筆によるデッサンの線引きの練習に続いて、各自が持参した動植物をモチーフにスケッチに取り掛かった。今回の1日コースでは鉛筆によるデッサンまでで着色するには至らなかったが、ボタニカルアートについて理解することが出来た。

久しぶりに真剣に取り組んだスケッチの時間であったが、「描く喜びから、植物から学ぶ喜びが生まれてきます。」との講師の言葉が心に残った講座であった。自然観察をするとき、すぐにカメラを向け撮影することで満足していたような気がするが、これからはスケッチをすることで深く観察するように心掛けたいものである。



ボタニカルアートのデッサンから着色までの全体の流れが講師自作のDVDで紹介されました。



まずは、鉛筆でデッサンの線の引き方の練習から始まりました。



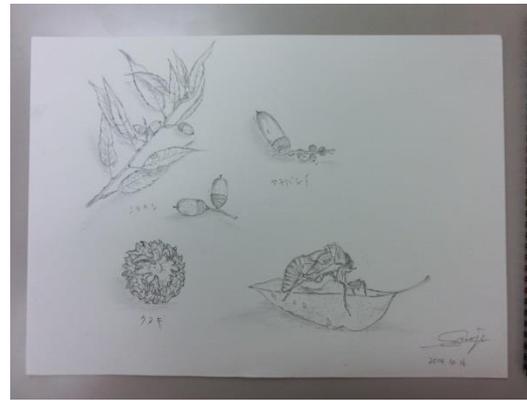
各自で持参した動植物をモチーフに  
スケッチに取り掛かりました。



浅井講師のデッサンを参考に、久々の  
スケッチに真剣に取り組みました。



「植物の特性をよく観察して・・・」  
講師の個人指導で、細部までデッサン  
していきました。



初めてにしては、素晴らしいデッサンが  
描きあがりました。



受講生の中には、講師も驚くほどのデッ  
サンを描く画伯？も現れました。



久しぶりのスケッチで疲れましたが、  
なかなかの出来栄えに満足感も！